



安房小湊・南房総 旅行会報告



今年の旅行会は2017年5月16日(火)17日(水)1泊2日、目的地は千葉県房総半島 日蓮聖人ゆかりの安房小湊であった。発表後すぐに申し込んだ。稲門会仲間との楽しい時間が理由であったがもう一つ秘めたる理由があった。それは後ほどご説明します。

第1日目 雨もなく、暑くも寒くもない旅日和、24名全員が集結後、8:00に東村山駅出発、途中 池田さんより大昔 紀伊半島から黒潮に乗り房総半島にたどり着いた人達が醤油・お酒を伝えた事、その為 白浜等紀伊半島の地名が房総半島にも残っている事、メタンガスを活用した千葉の工場勤務された事などのお話があった。また歴史の語り部・長野さん86歳による故郷群馬の戦国時代史、平家の末裔千葉氏の千葉経営、足利氏から派遣された里見氏の南総支配等のお話をして頂いた。10:00には東京湾アクアラインの海ほたるに至る。約1時間の休憩、スカイツリー、横浜ランドマークタワー、三浦半島、東京湾出口、新日鉄君津製鉄所、千葉袖ヶ浦・姉ヶ崎東電発電所と360度ぐりと見渡せた。アクアラインは今年で開通20年の由、すごい物を作ったものだと感心した。昼食は千葉県側の道の駅で大振りの刺身定食であった。君津の濃溝の滝に寄り、亀岩の洞窟を散策後、目的地安房小湊に到着した。

今回の本命である鯛ノ浦遊覧船で特別天然記念物 鯛を見物に行った。1222年 日蓮聖人誕生時に鯛が群集浮上、銀鱗を踊らせ祝福したとの伝説、それ以来、同地では鯛は禁漁、大事に保護されてきた由。確かに餌を撒くとおびたしい数の鯛が群集浮上した。しかし頭部と眼は大きく、体型は流線型に近く、体色は青みを帯びていた。鯛のイメージである、小さな頭部、赤い大きな体型とは異なる。海に生きている鯛は斯くの如きかと驚愕した。

15:00にはお宿の吉夢にチェックイン。町自体 迫る山と海の狭い場所に位置し、ホテルも磯の上に建設された9階建て、Wi-Fi環境で全室オーシャンビューだった。18:00の夕食宴会までの間、9階の展望風呂、屋上10階の露天風呂に浸る。眼下に防波堤、釣り人、湾を形作る山々の新緑、海風を巧みに捕え飛び浮かび、ヒューホロと鳴く2羽のとび、その奥に太平洋が望まれた。まさに非日常の時間であった。

夕食宴会は大内会長の挨拶、青山さんの司会で旅行会の歴史の解説で始まった。料理は刺身の追加もあり、さすが海の幸満載であった。同室の舞台での2次会カラオケは名物となった池田さんの司会、小亀さんの十八番、「人生劇場」を皮切りにお得意の喉が続き、取りは阿部さんの「お久しぶりね」だった。締めは「東村山稲門会の歌」、「紺碧の空」、「早稲田の栄光」、「早稲田大学校歌」、慶応応援歌「若き血」であった。3次会は世話人の部屋で女性を除くほとんどが参加、ビール、お酒を堪能し、小池都政、慶応大学との比較等の議論百出であった。

第2日目 この日も旅日和。朝食後9:30ホテルの目の前の誕生寺を参拝した。大きく高い屋根を持つ本堂はあまり見かけない建築様式であった。ここは日蓮聖人の誕生の地、誕生時に庭に清水沸き、海には蓮の花が咲いたとの伝説だった。日蓮聖人の幼き頃の善行童子の銅像の前で記念撮影、写真屋曰く、どうせ買っては呉れないが万が一ほしい人がいたら写真を買って下さいとの甘言に乗せられ買った人がかなりおり、おまけの1枚を加藤さんが入手した。途中 カラオケ同好会世話人の南湖さんより前夜のカラオケ大会の優秀賞の発表があり、美女軍団が合唱、野村さんが参加した「月の砂漠」と決定した。

道の港でお土産の干物を購入後、野島崎灯台を散策した。灯台は房総半島の南端にあり、灯台の最上階からは太平洋を180度丸く眺望できた。1806年幕府と米国を含む4カ国と締結した江戸条約により明治2年12月18日に点灯、一方

フランス語の銘板には1870年1月19日点灯とあった。この理由は明治政府が西暦を採用したのは明治10年だった為と説明文があった。14:00 金谷フェリー近くのザ・フィッシュにて昼食、海ほたるにてトイレ休憩後18:00 東村山駅に到着した。天気にも恵まれ、事故もなく、故障者も出ずよい旅行会であった。来年の参加も表明された方はドイツ語の得意な重原さんを始め数名おられた。パックではない手作りの旅行で、目的地・ホテルも自選、行程も当日変更可能とゆったりとした企画の賜物であった。企画、ホテル・バス会社の手配交渉に入院手術前まで尽力して頂いた吉田勝さん、事前にリハーサル訪問を行い、ビール飲みの為にトイレの場所とタイミングを調査頂いた加藤さん、会計とバスの中で絶え間ないビール、お酒、おつまみの供給に配慮頂いた青山さん、吉田勝さんに代わり参加者募集に奔走して頂いた高橋正夫さん、この世話人団の皆様には感謝致します。

最後に成りますが、今回の旅行に密かに期待した個人的理由は下記でした。私は戦争疎開で千葉県成田にて小学校時代を過ごした。その修学旅行は安房小湊だった。安房小湊を訪れば修学旅行の思い出が蘇るかもしれないと期待した。しかし60年の歳月は遠く蘇る事は何もなかった。蘇ったのは当時1組60人クラス、クラスのマドンナの正子ちゃん、牛車・馬車が行き来した成田山新勝寺までの参道・商店街通り、ロズさんだ春日八郎の「お富さん」、若山彰の「喜びも悲しみも幾年月」等々だった。これらの千切れた記憶が非連続的にフラッシュバックしてきた。今回の旅行会は私にとって内なる過去へのセンチメンタルジャーニーでもあった。(黒田祐司 記 赤荻洋一 写真)

参加者(敬称略)24名:南湖、野中夫妻、黒田、守屋、戸田、阿部、富澤、野村(茂)、小菅夫妻、山本(岩)、高橋(正)、青山、當間、赤荻、岡田、加藤、池田、長野、大内、重原、小亀夫妻

会からのお知らせ

○平成29年7月定例役員

日時 平成29年7月8日(土) 14:00~16:30
場所 市民センター2階

○平成29年総会

次の通り決定しました。大切な会なのでご出席を予定してください。

日時 平成29年11月11日(土) 14:00~18:30
場所 サンパルネコンベンションホール

○他稲門会関係

・国分寺稲門会定時総会

日時 平成29年6月4日(日) 16:30~20:30
場所 龍栄 大内会長、山本副会長出席

・西東京稲門会定時総会

日時 平成29年6月11日(日) 13:00~17:00
場所 早稲田大学東伏見キャンパス 大内会長 岡田副会長出席

・武蔵野稲門会総会

日時 平成29年6月18日(日) 11:00~16:00
場所 武蔵野スイングホール 山本副会長 滝来副会長出席

○退会

手嶋 泰氏 (自己都合)
小林 傳氏 (自己都合)

早稲田大学関連ニュース

2017年度入学式を挙行

4月1日、2日、3日に、2017年度の各学部・大学院・芸術学校の入学式が大隈記念講堂で行われました。2017年4月の学部入学者は9,098名、大学院入学者は2,927名で2016年9月の学部大学院入学者998名と合せると、4月1日現在の1年生の総数は13,023名となります。このうち1,648名が海外からの留学生で約13%を占めており、世界各地から数多くの優秀な人材が早稲田の柱に集まりました。

総長は、式辞で「新入生の皆さんには、早稲田大学の提供する優れた教育環境を、また個性豊かで多様な教員・学生との切磋琢磨の機会を主体的かつ積極的に活用することで、これからの時代を牽引し、不透明な時代を逞しく生き抜いていくために必要とされる基礎的なスキルとマインド、さらに総合的な人間力を涵養してください」と新入生を激励しました。

入学志願者は114,983名

2017年度の一般入学試験の受験者は募集人員5,550名に対し114,983名で6年ぶりに11万人を超えました。なお、合格者は15,927名で実質倍率は約7.3倍となりました。

志願者の多い大学 ①近畿大学126,049名 ②法政大学119,206名 ③早稲田大学114,983名 ④明治大学112,907名
⑤ 日本大学105,089名 (小亀 輝雄 記)

多摩湖町わいわいおしゃべり会 開催報告



4月23日 第3回「多摩湖町わいわいおしゃべり会」を多摩湖ふれあいセンターで開催しました。今回は多摩湖町に家があり兵庫県宍粟市在住の八木勝利（昭47政研）さんが駆け付けてくださりました。そして、初参加の吉澤勇（昭37法）さんと上町弓子（平6文）さんが加わり総勢14名が参集し、大いに盛り上がりました。

尚 第1回は昨年4月に多摩湖町在住であり、会員でもある早稲田大学教授・千葉俊二（昭47文）さんに「谷崎潤一郎との出会い」と題してお話いただき、第2回は昨年10月に野中さん（昭32

商）から「土門拳—1938年早稲田大学政経卒業写真アルバム」、高部さん（昭35理工）からは「背広は男のハンドバック」と題してスピーチをしていただきました。

今回第3回は最初に、年長の野中昭夫さんの乾杯の音頭で開会しました。藤澤さん（昭29政経）と田中さん（昭33商）がスピーチされました。藤澤さんは「銀行から来た経営者たち—金融支配の変遷」と題してお話されました。藤澤さんが采配を振るわれたアサヒビールには、1971年から28年間、経営再建と称して4人の社長が住友銀行から来ました。住友銀行は堀田庄三と磯田一郎の二代にわたる時代です。そしてその間、銀行から来た経営者と藤澤さんらプロパーとの壮絶な戦いのドラマを話されました。九州支店長時代、長崎の300人ほどの芸者さんを味方につけ、三菱重工の企業城下町で、キリンからアサヒに転換させた武勇伝とか、東京支社長時代、2度の社内稟議を却下された「スーパードライ」の開発者が相談に来た際、通るまで稟議書を上げると鼓舞、3度目の稟議で東京地区に限定して「スーパードライ」の製造と販売が許可され、やっと消費者の許に届いた、販売当初から品薄となるヒット商品になった経緯とか、当時の年間販売額の2倍近い7,000億円の大設備投資に繋がった話とか、他では聞けない話をされました。

田中さんは「私の経歴」と題してお話をされました。学生時代に、ラテン音楽に没頭、そのとき覚えたスペイン語が役立ち、丸紅に入社し商社マンとして活躍。営業力を生かして、31才でホンダに転職。ベトナム戦争の最中、サイゴンを拠点にして3年間で75万台のオートバイを売り切った話。1975年にはアメリカホンダの二輪車の責任者としてロスアンジェルスに5年間駐在、1980年の現地生産に繋がった。人と人の信頼関係を大切にして実績を挙げられた話をされました。その後1988年に実家である神田の不動産を活用してドトールコーヒーのチェーン店を経営。5年で5店舗まで拡げ現在に至り現役です。サイゴン時代やアメリカ時代に学んだ「人と人のつながりを大事にすること」をモットーにして現在も生かしておられます。

そのあと、お茶、ビール、お酒を飲みながら、参加者14名全員の自己紹介と近況、お二方のスピーチの感想・質問などをしました。「差し入れ歓迎」の案内をしたためか、ウイスキー、ワイン、日本酒、焼酎、ビール、ジュースなど飲みきれないほどご提供がありました。次回や稲門会行事に活用させていただきます。今回も予約時間を超過するほど盛況でした。

第4回は10月に予定しており、あまり会員の負担にならず、オープンをモットーに会を運営していきます。お話頂く語り部の異次元の話題、経験談、価値観には毎回感服しています。稲門会広しといえど、かような場、機会は少ないと思います。日常を離れ、非日常の場に身を置き、非日常のお話を聞き、脳を刺激する事は認知症防止に効果があります。稲門会会員の皆様のご参加をお待ちします。

参加者（敬称略）藤澤博恭（昭29政経）、野中昭夫（昭32商）、田中清二（昭33商）、高部素行（昭35理工）、倉田哲也（昭36理工）、井垣和太（昭37商）黒田祐司（昭41商）、戸田志郎（昭43法）、荒巻優之（昭51法）、吉澤勇（昭37法）、當間昭治（昭43法）、山本岩男（昭45法）、八木勝利（昭47政研）、上町弓子（平6文）

（戸田志郎 記）

「第55回本庄～早稲田100キロハイク」応援イベント報告

100キロハイク応援準備委員 秋山 剛

夏の到来を思わせるような暑い日差しの中、5月21日（日曜日）の昼に、多摩湖自転車道の一部に100キロハイク応援ブースを設け、応援準備委員会の若手委員はじめ役員の方々及び会員の皆様が11時過ぎから14時まで応援と交流に参加し、熱いエールを送りました。この企画は、岡田副会長が『伝統ある100キロハイクで、当市を通る後輩たちの後半コースの完歩激励に資するような応援と交流を図りたい。費用は会員のワンコイン募金で賄いたい』との思いを形にし、昨年からはまりました。

今回は学生への饅頭、熱中飴の配布数を100人分増やし、一般通行人等の妨げにならないように左側のみで応援を行い、また新たに学生のゴミ収集を行うなどの改善をしました。学生時代に100キロハイクに参加した山本優香さんの意見を基にした企画や、デザイン関係に精通している小山友希さんのミニチラシの作成、関係者のご尽力により応援企画の周知に加え、前日の配布物詰合せ作業など滞りなく進捗することができました。

当日は10時40分に準備委員の集合、応援ブース設置やのぼり旗の掲揚作業などを行い、11時半には役員・会員の方も加えて、応援・交流の要領と諸確認の説明が行われました。到着一番手は11時45分頃と予測しておりました。なかなか学生たちが顔を見せないで気をもみましたが、20名程度の先頭集団は11時55分に大拍手の応援の中、私たちの前に姿を現しました。

炎天下の前日から歩き始め、疲れた表情を見せていた学生たちの顔色が、私たちの存在に気づいた途端にパッと明るくなりました。「うわーまじ、涙出そうなくらい嬉しい!!」「なにこれ、ひがっしー、かわいくない!?!」「ゴールしたら食べます、マジ、ありがとうございます」という声が聴かれました。またゴミ収集の設置が想像以上に好評で、大型のポリバケツ5杯分のペットボトルと空き缶を回収しました。学生たちからも「マジ助かるわ」「本当に捨ててもいいんですか」などと、感謝の言葉が発せられて受け入れ側も嬉しい気持ちになりました。

13時25分には用意した全ての袋入り饅頭、熱中飴の配布が終了しました。気温が上昇したこともあり、熱中飴はその場で食べ始める学生の姿も多々見られました。

配布物は無くなりましたが14時まで応援・交流を続けました。学生たちの中には私たちの姿に気がついて、疲労困憊しながらも必死の思いで頭を下げながら歩いていく人、また、大声や歓声を上げながら通り過ぎていく学生もいました。また参加された会員の方々からは「時代は変わったが早稲田の後輩に会えて嬉しかった」、「前向きな学生たちの笑顔に元気が出た」、等の喜びの感想をいただくこともできました。

今後も100キロハイク応援は続いていくと思います。私たちの活動としてより良い企画を考えて参ります。末筆になりますが、陰ながら母校の発展を祈念するとともに、事前の準備や、応援に参加いただきました会員の皆様に厚く御礼申し上げます。なお今年のワンコイン募金には31,552円の多額が寄せられました。ご支援誠にありがとうございました。



応援参加者（敬称略）：赤荻、秋山、市川（彰）、出田、大内、岡田、加藤、上町、小林（俊）、高橋（正）
 滝川（桜）、滝来（京）、田口、太刀岡、土橋、當間、富澤、野村（茂）、三宅、山本（岩）
 （秋山 剛 記 写真 山本 岩男）

同好会だより

当会会員及びご家族の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

俳句同好会（稲酔会） 世話人 井垣 和太 04-2924-2934



第92回「稲酔」俳句会は、6月17日（土曜）14：00～久米川駅傍「丸藤」2階で開催いたします。
 兼題は「祭」（夏祭、祭笛、祭太鼓、山車、神輿、宵祭、etc）です。
 本来は、5月15日の京都賀茂神社の「葵祭」を単に「祭」とよんだそうですが、俳句では、それ以外の夏に行われるものを「祭」の一字で表し、「春祭」「秋祭」と区別しています。
 商店街の「・・・祭」というイベントは、俳句の季語とはなりません。幅の広い季語ですので、いろいろな場面の句が期待されます。

祭獅子被ひては子に泣かれある
 ざる一枚小腹に神田祭かな
 地下鉄の穴出で三社祭かな

丸山美奈子
 織田美奈子
 稲石 實

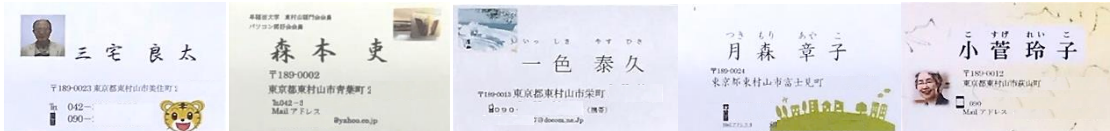
（稲雀 記）



パソコン同好会

世話人：小菅 宏 TEL 042-391-0219
 福田 昇七 TEL 090-9374-8944

Aクラス 名刺をさらに修正して、各10枚～20枚印刷しました。



Bクラス

- お困りごと相談：様々なお困りごとを一緒に解決しました。
 - ・身代金ウィルスとは
 - ・感染しないための対策
- バックアップ

次のような現象でパソコンのデータが読めなくなった場合でも、バックアップしてあれば、助かります。

- ・身代金ウィルスに感染して、パソコン内の大切なデータが読めない。
- ・パソコンが壊れて、パソコン内の大切なデータが読めない。

このような現象に対応するために、定期的にデータのバックアップが必要です。何を、何処に、どんな方法でバックアップすれば良いのかを学習しました。

次回は、バックアップソフトをインストールして、実際にデータ（文書や写真等）を外付けハードディスクにバックアップする予定です。

ご興味のある方、パソコンでお困りの方、パソコンを始める方見学大歓迎です。

参加者（敬称略） 下記の他にシルバー人材センターの講師2名がおります。

- ・5月6日（土）
 - Aクラス 三宅、森本、一色、月森夫人、小菅夫人
 - Bクラス 當間、藤井、赤荻、高橋（正）、小亀、小菅（講師）
- ・5月20日（土）
 - Aクラス 三宅、森本、一色、小菅夫人
 - Bクラス 山本（岩）、福田（昇）、赤荻、高橋（正）、小菅（講師）



テニス同好会

世話人：野村 茂樹 TEL 042-393-7036
 (副)：吉田 劭文 TEL 042-397-3293

最近のゲームのスコアを覗んでいると、ゲーム数が4-0や3-1で勝敗が決するケースが多い事に気づいた。これは、ゲームに強い人と弱い人がいて、組合せ上、仕方ないが、弱い人の技術向上によって解決できるので、今後はストローク等の基本練習を強化すると共に、試合の際のフォーメーション等を練習に取り込みたい。これによって試合が一段と面白くなること請け合い。取り組むべき課題が一つ発見できた。

4月30日(日) 運動公園Dコート、13時~15時、天候は晴れ、気温21℃、南風強し

持ち時間が2時間、6人が参加されて一安心。いつも通り、ミニテニス、ボレーボレー、ストローク、サーブを約40分間練習した後、試合開始。コートの方フェンス周りの真っ赤な石楠花(ジャクナゲ)の花の匂いで春を実感。6人で5試合を消化した。

*参加者(敬称略)6名：市川晴代(彰彦夫人)、黒田、田島、當間、野村(茂)、吉田(劭)

5月12日(金) 運動公園Cコート、11時~15時、晴れ、気温30℃、無風

気温は少し高いが、蒸し暑さはなく、テニス日和。持ち時間4時間にも拘わらず、参加者は僅か4人。いつも通りの練習を手際よく行い、11時40分から4ゲーム先取制の試合開始。4人の為、休憩時間を少し長めにとり、6試合をじっくりと行なった。組み合わせ(パートナー)による力の差はそれ程ないと思ってたが、4-0の試合が6試合中3試合もあり、意外であった。これからは、この差を縮める対策に取り組むことが重要と認識した。

*参加者(敬称略)4名：黒田、野村(茂)、山口(修)、吉田(劭)

5月19日(金) 運動公園D、Eコート9時~11時 気温25℃、無風・テニス日和

持ち時間は2時間なるも、利用コートは2面。ウォーミングアップを慎重に行い、6人で4試合を消化。久しぶりに女性が2名参加。多様なボランティア活動をしながら合間を縫っての参加に敬服。「もう少しテニスに参加頂けるとありがたい」と密かに願うのは男性会員。また、宮元さんは、九州への里帰りから自宅へ戻った直後の参加。ご多忙の中でも参加下さる会員のテニスがつって(手にすがって)、例会は成り立っている。感謝!

*参加者(敬称略)6名：市川晴代、黒田、滝来(京)、野村(茂)、宮元、吉田(劭)

書道同好会

世話人：大森 平八郎
 TEL 042-391-0535



4月30日第9回参加者5名(敬称略)

・赤坂夫人、高橋(正)夫人、三宅、大森夫妻

大型連休のため、少数の参加となりましたが、事前に欠席の連絡を頂いていました。今回は、再び漢字の「横画」「タテ画」「左右の払い」の基本を復習しました。田代氏より頂いた解説付きの“三川人大”四文字の手本が大変役立ち、払いの運びがよくなりました。

- 開催日：毎月月末
 但し、公民館は月曜日が休館の為、月末が月曜日の時は前日(日曜日)
- 開催時間：午後3時40分~5時
- 開催場所：萩山公民館
 住所 萩山町2-13-1
 TEL 042-393-3170

*第11回開催日 6月30日(金)

*第12回開催日 7月30日(日)

興味のある方は御自由に会場をご覧ください!

麻雀同好会

世話人：阿部 茂
 TEL 090-2464-1658



第76回大会のご案内

日時：6月24日(土) 12:30~
 場所：サロン「園」 TEL 394-4444
 会費：4,000円
 懇親会は希望者のみ別途実費にて、東村山駅近辺で実施。
 締切：6月17日(土)までに阿部までご連絡下さい。

メンバーが増え、3卓になることを願っています。

第75回大会の結果ご報告

松永さん 久しぶりの優勝!

3月19日(日) サロン「園」にて実施。松永さんが久しぶりの優勝を飾りました。今回から町田(光)さんがメンバーに加わりました。

・参加者(敬称略)8名：阿部、小亀、佐々木、滝川(正)
 田口、土橋、町田(光)、松永(常)

グローバルサロン英語の会

世話人 滝川正義 TEL 042-394-8187

小亀輝雄 黒田祐司 山本岩男

5月10日(水) 市民センター会議室で、第36回の会を開催しました。



1. **Listening** Voice of America の教材を使用しました。担当 山本
Chinese Investing in Silicon Valley Companies
英文を見ながら、ゆっくり読まれている英語を聞き、英文解釈をしました。
2. **Singing** 担当 滝川
①Grandfather's Clock 大きな古時計 / アメリカ民謡
②Tea for Two 二人でお茶を / Doris Day

3. **Guest Speaker** 滝来 洋二 氏 演題「まだ良き時代のシリア滞在記」

滝来洋二ご夫妻は、1980年2月～1984年4月までの4年間、駐在員としてシリアの首都ダマスカスに滞在しました。シリアと言え、我々は2011年からの長すぎる内戦をテレビの報道で見て、現地で生活している人達の悲惨な光景に同情し、平和を回復する方法がないのかと思います。今回シリアの歴史、宗教、民族、部族間の対立、大国間の思惑等を講義していただき、問題の解決が容易でないことが分かりました。洋二さんは滞在時、仕事で業績を上げられましたが、真の立役者は365日接待係をしていた妻です、とおっしゃっていただきました。滞在中大変なご苦労があったのではないかと推測されます。

4. **US Season Event (米国歳時記) 5月 戦没者追悼記念日** 担当 滝川 (正)

今回、黒田さんが都合により欠席されましたので、黒田さんが作成した資料により滝川さんに説明していただきました。米国の歴史は戦争が極めて重要です。米国45代の大統領の内70%以上が軍歴の持ち主というお国柄です。Memorial Day は5月の最終月曜日で、祝日になっております。アーリントン国立墓地は、あらゆる宗教による埋葬を許容しており、米国を訪問した要人が、この墓に献花しています。

参加者 (敬称略) 14名： 守屋、滝川 (桜)、岡田、赤荻夫人、倉田、重原、吉澤 (勇)、滝来 (洋)
滝来 (京)、高橋 (正)、宮元、滝川 (正)、小亀、山本 (岩)

次回は、平成29年6月14日(水) 市民センター2階 14:00～16:30 で開催します。

ゲストスピーカーは、高橋正夫氏です。 演題 「私の見たヨーロッパ各国の特色」

カラオケ同好会

世話人：南湖 修一 TEL 042-390-2287

6月 は三田会と合同開催！



5月13日(土) 午後7時から久米川駅踏切傍のビル4階にある「カラオケ家」で平成29年5月例会を実施しました。井垣さん、南湖に加え、途中から井原さんと大内さんも参加し、歌声を響かせ、楽しいひと時を過ごしました。今後の予定は以下の通りです。

- *6月2日(金) 18:00～21:00 ビッグエコー東村山 東村山三田会と合同カラオケ大会
- *7月8日(土) 19:00～ 久米川駅南口踏切そばビル4F「カラオケ家」 (例会)



音楽同好会

世話人：市川 彰彦 TEL 042-308-8181

高橋 文子 TEL 042-449-5018

当同好会は今年発足から10年を迎えましたが、一足先に誕生から10年を数えた「東村山稲門会の歌」、例会の折に練習してみようと思います。原曲がホームページにアップされているので参考のため聴いてみてください。

5月30日の例会では、夏は来ぬ、雨降りお月さん、椰子の実、学生時代、五月の歌(モーツァルト)、遙かな友に、線路は続くよどこまでも、等を歌いました。この例会の様子は次回のニュースにてお伝えします。また次の例会は7月または8月に開催予定です。歌ってみたい歌のリクエスト等は世話人までご連絡ください。

同好会・行事	6月					7月					世話人 (問合せ先)	
	日	曜	時間	場所	備考	日	曜	時間	場所	備考		
ウォーキングの会	—	—	—	—	—	23	日	9:00	東村山駅上りホーム	—	富澤	042-394-4292
郷土史の会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	阿部	042-332-0298
テニス同好会	2	金	9:00~13:00	運動公園コートDC	—	7	金	15:00~17:00	運動公園コートC	—	野村(茂)	042-393-7036
	14	水	13:00~15:00	運動公園コートE	—	12	水	15:00~17:00	運動公園コートDE	—		
	16	金	9:00~13:00	運動公園コートC	—	16	日	13:00~15:00	運動公園コートE	—		
	28	水	11:00~15:00	運動公園コートD	—	21	金	9:00~11:00	運動公園コートC	—		
囲碁同好会	17	土	13:00~	市民センター2階	—	—	—	—	—	—	福田晃	042-394-0593
カラオケ同好会	2	金	18:00~21:00	ビッグエコー東村山	三田会	8	土	19:00~	カラオケ家	—	南湖	042-390-2287
園芸の会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	當間	042-391-6023
麻雀同好会	24	土	12:30~	サロン「園」	—	—	—	—	—	—	阿部	042-332-0298
音楽同好会	—	—	—	—	—	*	*	*	*	—	市川	042-308-8181
俳句同好会	17	土	14:00~	「丸藤」2階	—	—	—	—	—	—	井垣	04-2924-2934
ゴルフ同好会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	紅松	042-393-6924
グローバルサロン 英語の会	14	水	14:00~16:30	市民センター2階	—	19	水	14:00~16:30	栄町ふれあいセンター	—	滝川(正)	042-394-8187
女子会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	滝川(桜)	042-394-8187
早稲田スポーツを 応援する会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	大内	042-393-6543
書道同好会	30	金	15:40~17:00	萩山公民館	—	30	日	15:40~17:00	萩山公民館	—	大森	042-391-0535
パソコン同好会	3	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会	1	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会	小菅	042-391-0219
	17	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会	15	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会		
雑学講座	10	土	15:30~17:30	サンパルネ	—	—	—	—	—	—	吉田勝	042-344-2978

— :対象月に開催予定無し * :ニュース編集時点で未定。詳細は世話人にお問い合わせ下さい。

編集後記



○5月南房総を回る旅行会に参加しました。千葉県といえば皆さんはどんなことを思い出しますか。私は、小学校時代に参加した岩井海岸の臨海学校、両親と一緒にいった潮干狩りが小さい頃の思い出として残っております。会社員になってからは、千葉県のゴルフ場に何度も通いました。

○今回の旅行は、ゆったりとしたくつろぎの旅行であったせいか、参加したご年配の方々にも大変好評でした。お刺身、鰯の干物、佃煮等外房ならではの新鮮な美味しい食事が印象に残りました。千葉県は昔紀伊半島から移り住んだ人が多く、紀伊半島の地名や食べ物が残っていること、千葉県の郷土史について新しい知識を得ました。餌をまくと、群れをなして鯛が寄ってくる特別天然記念物の鯛の浦は、今後とも大切に保存してほしいと思いました。(山本岩男 記)

○次号の原稿締め切りは、6月24日(土)です。皆様の投稿お待ちしております。

送付先 山本岩男 FAX : 042-391-7976 E-mail : yamamoto.i@jcom.home.ne.jp

俳壇

分枝の窓いつばいに幟の尾 菊田 一平
 朴咲いて象のはな子の忌がすぐに 黒田 柿黒
 雨上がり新緑涼し五十鈴川 小亀 稲生
 吉原の大門跡や柿若葉 高部 糸行
 春の海日蓮の鯛命継ぐ 波多野 敏治
 春眠やしばし留まれ春の陽よ 八木 竜湖
 娘らの春の話題に耳たてる 山下 波雲
 山あいの小さき集落春近し 栗島 三郎
 若葉光輝く未来どの児にも 久留米 つつじ満開にして庭ひらく
 更衣きれいさっぱり心まで 初夏の風気持ひとつの若返り
 太指を幼な指へと螢の火 井垣 稲雀
 大空に撓ひ確かむ鮎の竿 どの花も外向きたがる鉄線花
 遠くより風の香りや梅雨はじめ 故里の恩師健やか夏落葉
 古靴に水の浸みくる走り梅雨 表の穂や真直ぐに天を目指しをり
 出田 麦穂